

看護教育学・感染症看護学

教授 前田 ひとみ
Hitomi Maeda

現在の研究テーマと内容

■ 看護実践思考能力を養う教育方法に関する研究

専門職である看護職は個々のキャリアビジョンの実現に向かって、継続的に主体的かつ自律的に生涯学習に取り組むことが求められます。学生や看護職を対象に自己調整学習理論やリフレクションを用いた介入により、自主的な学びのサイクルを回すメカニズムの解明と臨床判断能力を育む方法を探究します。

■ 感染症患者に対するケアシステムの開発と感染管理に関する研究

医療・介護施設において毎年、感染予防教育が行われますが、スタッフの行動変容や習慣化を図ることは難しいのが現状です。行動理論に基づき、各施設の状況に合わせた新たな感染予防教育の手法を見出し、その効果を検証します。

これまでの研究成果と今後の展開

これまで指導した大学院生の研究テーマを紹介します。今後はこれらの研究を発展させ**安全で安楽な看護ケア方法を追究**するとともに、**看護基礎教育並びに継続教育における臨床判断能力と看護実践力を高める教育方法、教育プログラムの開発**に取り組めます。

- ・ 看護学臨地実習に対する看護大学生の自己調整学習に関する研究
- ・ 看護学生の「自己への気づき」を導くリフレクションと批判的思考に関する研究
- ・ 臨地実習における看護学生の失敗に対する看護教員のかかわりとリスク感性に関する研究
- ・ 看護学生のコミュニケーションスキルと患者との人間関係形成技能に関する研究
- ・ ビデオ映像を用いた振返りが車椅子移乗技術の自主練習に及ぼす効果
- ・ 看護系大学及び看護師養成所の実習指導教員の実習指導上の困難に関する研究
- ・ 看護専門学校教員に対する自己調整学習理論に基づく論文講読プログラムの効果
- ・ 新任保健師が仕事上抱く困難・戸惑いに対するプリセプターシップの影響
- ・ 先輩看護師のかかわりが新人看護師のミスの認知的評価報告意思に与える影響
- ・ 新人看護師のリフレクション支援に向けたプロセプター育成プログラムの開発
- ・ 成人初期看護職者の精神健康度に関する基礎的研究
- ・ 臨床経験3年以上20歳代看護職者の離職願望の生起を予防するための看護実践の見つめ直しプログラムの開発
- ・ 新人看護師の医療事故体験を支援するプリセプター対象ソーシャルサポートプログラムの効果
- ・ 配置転換に対する看護職者レジリエンス尺度の開発と信頼性・妥当性の検討
- ・ がん診療連携拠点病院と一般病院の終末期がん患者に対する継続看護に関する研究
- ・ 計画的行動理論に基づいた一般病棟看護師の終末期がん看護ケア行動の構造
- ・ 在宅で生活する重症心身障がい児のミキサー食継続に関する研究
- ・ 採血を成功させるための観察と思考に関する研究

これまでの研究成果と今後の展開（つづき）

- ・ 小児の末梢持続点滴管理に関する研究
- ・ 感染管理に焦点を当てたポータブルトイレ排便時のケア方法に関する研究
- ・ 新生児集中治療室の医療関連感染予防策における手袋使用に関する研究
- ・ 血液透析患者の口腔乾燥改善を目的とした口腔ケアプログラムの開発・評価
- ・ 脂質異常症の男性HIV感染者に対する食事・身体活動移入プログラムの開発

大学院を目指すみなさんへメッセージ

熊本保健科学大学は、地域と連携した教育・研究を推進し、人々の健康の向上と社会的課題の解決に貢献しています。大学院生活は、あなたのプロフェッショナルとしての成長を促し、キャリアプランの実現に向けた大きな一歩となると確信しています。日々気になっている看護現象や関心のある健康・教育に関するテーマについて、いろいろな分野の研究者・臨床家と自由闊達な意見交換を行ないながら、私と一緒に学問や研究に触れてみませんか。